

JIS 7253 : 2012に従って作成

3', 4' -Dimethoxyacetophenone

1. 化学品及び会社情報

製品説明 3', 4' -Dimethoxyacetophenone

Cat No. : L02737
CAS番号 1131-62-0
分子式 C10 H12 O3

供給者
Al fa Aesar
Thermo Fisher Scientific Chemicals, Inc.
30 Bond Street
Ward Hill, MA 01835-8099
Tel: 800-343-0660
Fax: 800-322-4757
Email: tech@alfa.com
www.alfa.com

緊急通報専用電話番号 通常勤務時間には、健康、安全、環境部門に、通常勤務時間後は、ケムトレック
Carechem 24 +81 345 789 341

推奨用途 実験試薬.

2. 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

急性経口毒性	区分 4 (H302)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2 (H319)

ラベル要素



注意喚起語 警告

危険有害性情報

H335 - 呼吸器への刺激のおそれ
H302 - 飲み込むと有害

注意書き

予防

P264 - 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
P270 - この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと
P280 - 保護眼鏡/保護面を着用すること

対応

P301 + P312 - 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
P330 - 口をすすぐこと
P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

保管

P403 - 換気の良い場所で保管すること

廃棄

P501 - 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	化審法番号	安衛法番号	重量パーセント
エタノン, 1-(3,4-ジメトキシフェニル)-	1131-62-0	データがない	4-(10)-1147	>95

4. 応急措置**眼接触**

少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと。医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服と靴を脱ぎ、直ちに石鹼と多量の水で洗い流すこと。医療処置を受ける。

吸入

よく露現場から移し、寝かせること。外気に移動してください。呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。被災者がその物質を経口摂取または吸入した場合には口移し法は使わず、一方弁を備えたポケットマスクまたはその他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。医療処置を受ける。

経口

無理に吐かせないこと。口を水ですすぐ。直ちに医師または毒物管理センターに連絡する。

最も重要な兆候及び症状

情報なし。

応急処置を行う者本人の保護

医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護および汚染の拡大を防止するために措置を講じること。

医師に対する注意事項

症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置**適切な消火剤**

水噴霧。二酸化炭素 (CO2)。粉末消火剤。化学泡。

安全上の理由から使ってはならない消火剤

情報なし。

使ってはならない消火剤

情報なし

引火点

> 112 °C / > 233.6 °F

方法 -

情報なし

自然発火温度

爆発限界

上限

データがない

下限

データがない

機械的衝撃に対する感度

情報なし

静電放電に対する感度

情報なし

化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。

危険有害性燃焼生成物

一酸化炭素 (CO) 二酸化炭素 (CO2)

消火を行う者のための保護具および注意事項

他の火災と同様に、プレッシャデマンド型自給式呼吸装置、MSHA/NIOSH(認証品または同等品)および全身保護服を着用すること。

NFPA

健康
2引火性
1不安定性
0物理化学的危険性
N/A**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項

保護具を使用する。十分換気されているか確認すること。

環境に対する注意事項

安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。

封じ込めのための方法およびクリーンアップ

こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。この物質を環境に持ち込んではいけません。粉じんの形成を避けること。

セクション8および13に記載されている保護対策を参照してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

皮膚および眼との接触を避ける。粉じんを吸入しないこと。摂取しない。粉塵の発生および蓄積を最小限にすること。休憩前および製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。容器を密閉しておくこと。

特定用途

検査室における使用

8. ばく露防止及び保護措置

管理パラメータ**モニタリング手段**

BS EN 14042 : 2003タイトル識別子：作業空間の大気。 化学物質および生物剤への暴露評価のための適用および使用手順ガイド。

曝露防止**技術的対策**

特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。洗眼台および安全シャワーが必ず作業場所の近くにあることを確認すること。有害物質を管理するために、可能ならば、過程の隔離や囲い込み、放出や接触を最小限に抑えるための家庭や装置の変更の導入、適切に設計された換気システムの使用などの工学的制御措置を採用する必要があります。

個人用保護具**眼の保護**

ゴーグル (ヨーロッパ標準 - EN 166)

手の保護

保護手袋

手袋の素材	破過時間	手袋の厚さ	EU標準	手袋のコメント
ニトリルゴム ネオプレン 天然ゴム PVC	メーカーの推奨事項を参照してください。	-	EN 374	(最小要件)

使用前に手袋を点検してください。手袋の供給者によって提供される浸透性および浸透時間に関する指示を守ってください。(製造業者/供給者の情報を参照)。手袋が行う作業に相応しいかどうかを確認してください：科学的適合性、敏捷性、操作条件、操作条件、ユーザー感受性(感作性など)。また、切傷や擦り傷の危険など、製品が使用される具体的な条件を考慮してください。皮膚の汚染を避けるために注意して手袋を外してください。

皮膚および身体の保護

適切な保護手袋と保護衣を皮膚の曝露を避けるために着用すること

呼吸器の保護

労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合には、認証を受けた適切な呼吸用保護具を必ず使用しなければならない。着用者を保護するために、呼吸器保護具は正しく装着され、また、適切に使用、維持される必要があります。

大規模/非常用

もし曝露限界を超えた場合、またはもし他の症状が出た場合NI OSH/MSHAまたはヨーロッパ規格EN136に認可された呼吸器を使用する

推奨フィルターの種類： EN 143に適合した粒子除去フィルター

小規模／研究室の使用

もし曝露限界を超えた場合、またはもし他の症状が出た場合NIOSH/MSHAまたはヨーロッパ規格EN149:2001に認可された呼吸器を使用する

推奨されるハーフマスク： - パーティクルフィルタ： EN149:2001
RPEを使用する場合は、フェースピースフィットテストを実施する必要があります。

口腔衛生

産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。

環境ばく露防止

情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

外観	黄色	
物理的状态	粉末 固体	。
臭い	無臭	
臭いのしきい値	データがない	
pH	情報なし	。
融点/範囲	48 - 52 °C / 118.4 - 125.6 °F	
軟化点	データがない	
沸点 沸騰範囲	286 - 288 °C / 546.8 - 550.4 °F	@ 760 mmHg
引火点	> 112 °C / > 233.6 °F	方法 - 情報なし
蒸発速度	該当しない	固体
燃焼性(固体、ガス)	情報なし	
爆発限界	データがない	
蒸気圧	データがない	
蒸気濃度	該当しない	固体
比重 / 密度	データがない	
かさ密度	データがない	
水への溶解度	熱水に可溶性	
他の溶剤への溶解度	情報なし	
分配係数(n - オクタノール/水)		
自然発火温度		
分解温度	データがない	
粘度	該当しない	固体
爆発特性	情報なし	
酸化特性	情報なし	
分子式	C10 H12 O3	
分子量	180.2	

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下で安定。
危険有害性反応	情報なし。
危険有害性重合作用	情報なし。
避けるべき条件	混触危険生成物。粉じんの形成を避けること。
避けるべき物質	強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素 (CO)。二酸化炭素 (CO2)。

11. 有害性情報

製品情報

(a) 急性毒性;

(b) 皮膚腐食性／刺激性;	データがない
。	
(c) 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分 2	
;	
(d) 呼吸器または皮膚感作性;	データがない
呼吸器の	データがない
皮膚	
。	
(e) 生殖細胞変異原性;	データがない
。	
(f) 発がん性;	データがない
。	この製品には発がん性物質は認められていません。
(g) 生殖毒性;	データがない
(h) ST0T-単回暴露;	データがない
結果／標的臓器	呼吸器系
(i) ST0T-反復暴露;	データがない
標的臓器	知見なし。
(j) 吸引の危険;	該当しない
	固体
その他の有害影響	毒物学的特性はよく研究されていない。
症状 / 効果、急性効果と遅延効果 共に	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性影響	排水路に流してはならない。
残留性および分解性 持続性	水に可溶、持続性の可能性は低いです。、利用可能な情報に基づいて。
生態蓄積性	生物蓄積の可能性は低い。
土壌中の移動性	製品は水溶性であり、水系統に広がる可能性があります。水溶性のために自然環境内で移動する可能性が高いです。土壌における移動性が高い
内分泌かく乱物質情報 持続性有機汚染物質 オゾン枯渇の可能性	この製品は、既知の内分泌かく乱物質または内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していません。 この製品には既知または疑わしい物質は含まれていません この製品には既知または疑わしい物質は含まれていません

13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	廃棄物は有害であると分類されている。廃棄物および危険廃棄物に関する欧州指令に従って処分する。、現地の規則に従って廃棄すること。
汚染された包装	この容器は危険または特別な廃棄物の収集所に廃棄してください。。

その他の情報 廃棄物コードは、製品を使用した用途に基づきユーザーが指定しなければならない。排水路に流してはならない。

14. 輸送上の注意

- IMDG/IMO 規制対象外
- 14.1. 国連番号
14.2. 国連輸送名
14.3. 輸送における危険有害性クラス
14.4. 容器等級
- 道路および鉄道輸送 規制対象外
- 14.1. 国連番号
14.2. 国連輸送名
14.3. 輸送における危険有害性クラス
14.4. 容器等級
- IATA 規制対象外
- 14.1. 国連番号
14.2. 国連輸送名
14.3. 輸送における危険有害性クラス
14.4. 容器等級
- 14.5. 環境危険有害性 危険性は確認されていません。
14.6. ユーザーに対する特別な予防措置 特別な予防措置は必要ありません
置
- 14.7. MARPOL73 / 78の附属書IIおよびIBCコードにおけるバルク輸送v国際バルク化学コードv0 該当なし、パッケージ商品

15. 適用法令

国際インベントリー X = 上場

成分	化審法	TSCA	EINECS	IECSC	KECL	PICCS	AICS	DSL	NDSL
エタノン, 1-(3,4-ジメトキシフェニル)-	-	X	214-468-0	-	-	X	-	-	X

国際規則 - 日本

16. その他の情報

作成者 健康、安全および環境部
発行日 26-10-2010
改訂日 15-3-2018
改訂の概要 SDSオーサリングシステムの更新、置換 ChemGes SDS No. 1131-62-0/2.

訓練に関する助言

薬害啓発研修、ラベルの組み込み、安全データシート(SDS)、個人用保護具(PPE)と衛生。
個人保護具の使用、適切な選択のカバー、互換性、画期的なしきい値、配慮、メンテナンス、フィット感と基準値
目の洗浄及び安全シャワーの使用を含む、化学物質への暴露の応急手当

凡例

CAS - ケミカルアブストラクトサービス
EINECS/ELI NCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州届出化学物質リスト
PICCS - フィリピン化学物質インベントリー
IECSC - 中国既存化学物質目録
TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
ENCS - 化審法
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

KECL - 韓国既存化学物質目録

NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリー

WEL - 作業空間暴露限界値

ACGIH - 米国産業衛生専門家会議

DNEL - 導出無影響レベル

RPE - 呼吸器保護具

LC50 - 致命的な濃度50%

NOEC - 効果濃度は観察されていません

PBT - 持続性、生物濃縮性、有毒性

TWA - 時間加重平均

IARC - 国際がん研究機関

PNEC - 予測無影響濃度

LD50 - 致死量50%

EC50 - 有効濃度50%

POW - 分配係数オクタノール：水

vPvB - 非常に持続的、非常に生体蓄積性の高い

ADR - 道路による危険物の国際運送に関する欧州の協定

IMO/IMDG - 国際海事機関/国際海上危険物コード

OECD - 経済協力開発機構

BCF - 生物濃縮因子 (BCF)

ICAO/IATA - 国際民間航空機関/国際航空運送協会

MARPOL - 船舶からの汚染防止に関する国際条約

ATE - 急性毒性推定

VOC - 揮発性有機化合物

主要参考文献とデータの出典

供給者の安全データシート、ケムアドバイザー社-LOLI、メルク・インデックス、化学物質毒性データ総覧 (RTECS)

このSDSは国連GHSセクション1.2(改訂4)に従って、JIS Z 7253 : 2012、セクション5.4およびJIS Z 7252 : 2014に準拠しています。

免責事項

この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終わり